

■科 目	高 齢 者 歯 科 学		■講師名	下 山 和 弘
I 部 2 学 年	前 期	1 5 コマ (1 コマ 90 分 授 業)	総 時 間 30 時 間	講 義 2 単 位
■学修概要				
<p>超高齢社会を迎え、高齢者の QOL の維持・向上のための歯科からの対応は喫緊の課題である。歯科医療・保健・福祉に関する包括的な学習を行い、高齢者の心身に関する総合的な理解に基づく口腔健康管理の知識・技術を習得する。</p>				
■授業目的、到達目標				
<p>わが国では高齢化が進んでおり、高齢者の健康管理が課題となっている。高齢者歯科学の分野では口腔機能を維持・向上させることが大きなテーマとなっている。高齢者の口腔健康管理に必要な知識を修得し、チーム医療の中で高齢者の QOL の維持・向上に貢献できる能力を身につける。高齢者の社会環境、心身の加齢変化、特に配慮が必要な疾患、生活機能の評価、栄養状態、摂食嚥下について学習する。</p>				
■授業方法				
講義				
■教科書（書籍名・出版社）				
歯科衛生学シリーズ／高齢者歯科学 医歯薬出版				
■成績評価・講義上の注意				
<p>学習態度および定期試験の点数で評価を行う。</p> <p>今まで学んできた各教科の知識を前提に講義を行われる。</p>				
■実務経験				
東京医科歯科大学大学院・歯学部および歯学部附属病院にておよそ 40 年間、教育・臨床を行った。				
■授業計画（講義の流れ）				
1	高齢社会と健康			
2	加齢に伴う身体的機能の変化			
3	口腔・咽頭の加齢変化と口腔の疾患			
4	生活機能の評価			
5	高齢者の精神・心理的变化			
6	高齢者において配慮が必要な疾患（1）			
7	高齢者において配慮が必要な疾患（2）			
8	高齢者において配慮が必要な疾患（3）			
9	摂食嚥下（1）			
10	摂食嚥下（2）			
11	摂食嚥下リハビリテーション（1）			
12	摂食嚥下リハビリテーション（2）、食事介助			
13	栄養状態			
14	要介護高齢者を対象とした口腔健康管理			
15	定期試験、解答解説			